

満洲事情

復刻版

全 9 卷

外務省通商局編（発行 / 調査）

1911・明治 44 年 3 月

1924・大正 13 年 8 月



品切れ
寸前！

残り数セット

2022 年 5 月 31 日

* ご注文要領は
最終ページ（6 頁）に
あります。



学術資料出版

大空社出版

満洲事情

復刻版

全9巻 構成

(復刻版)巻	原版	原版発行・調査年月	内容・調査地域	本文頁
1	第1輯	明治44年3月	奉天 新民府	643
2	第2輯	明治43年12月	牛莊 安東	712
3	第3輯	明治43年2月	遼陽 鉄嶺 長春	816
4	第4輯	明治44年7月	吉林 間島 哈爾賓	488
5	第5輯	大正4年11月	齊々哈爾 頭道溝 局子街 琿春	399
6	(第2回)第1輯	大正9年10月	吉林 長春 農安	610
7	(第2回)第2輯	大正9年11月	間島 局子街 頭道溝 琿春	289
	(第2回)第3輯	大正10年2月	鉄嶺 掏鹿 海龍	467
8	(第2回)第4輯	大正10年8月	牛莊	274
	(第2回)第5輯	大正11年6月	齊齊哈爾	287
9	(第2回)第6輯	大正12年8月	鄭家屯	183
	(第2回)第7輯	大正12年10月	哈爾賓	154
	(第2回)第8輯	大正13年8月	遼陽	197

外務省通商局編

満洲事情

復刻版

全9巻

原版[13冊]

第1輯(1911・明治44年3月)～
第5輯(1915・大正4年11月)
第2回・第1輯(1920・大正9年10月～
第2回・第8輯(1924・大正13年8月)

●かなりのものが容易に
ネット等で見られる今日
でも、この資料は「原版
すべて」を見ることはでき
ません。貴重です！

近代日本と〈満洲〉
基本資料

●地勢、人口、生活、環境、産業、
金融、法制、行政、文化、施設：
広範な領域にわたり詳細に調査。

★試みに

「第1輯」(明治44年3月) 全目次(15頁)
を並べてみます。微に入り細を穿つ調査項目！
他の輯も同様「推して知るべし」です。

満洲事情 第一輯

(奉天
新民府)

目次

第一巻 奉天管内

第一章 地勢面積人口及職業ノ大要

第一節 地勢及面積

一 地勢

二 面積

第二節 人口及職業ノ大要

第一款 清國人

第二項 人口

第二項 職業ノ大要

第二款 外國人

第一項 人口

第二項 職業ノ大要

第二章 管内實業上ノ特長

第三章 衣食住ノ状態

一 二 五 五 五 四 三 三 三 一 一

第一節 衣服

第一款 衣服

一 衣服ノ色合

二 衣服材料

三 喪中ノ服裝

四 衣服ノ裡毛

第二款 衣服材料ノ奉天ニ於ケル集散額及其產地

一 産地

二 絹子

三 綢子

四 綢緞

五 柞蠶紬類

六 呢

七 絨

八 麻布

九 綿布及金巾類

十 毛皮

第三款 帽子

一 帽子

二 防寒帽

一三

一四

一五

四節 輸出統計		五節 輸入統計	
一 四十年第一季 自一月至三月 奉天輸出入貨物統計表	四七	一 四十年第一季 自一月至三月 奉天輸出入貨物統計表	四七
(イ) 輸入		(イ) 輸入	
(ロ) 輸出		(ロ) 輸出	
(ハ) 輸入貨物仕出地別		(ハ) 輸入貨物仕出地別	
(ニ) 輸出貨物仕向地別		(ニ) 輸出貨物仕向地別	
二 四十年第一季 自一月至三月 奉天驛銀銅貨輸出入統計表	五四	二 四十年第一季 自一月至三月 奉天驛銀銅貨輸出入統計表	五四
(イ) 銀貨輸出		(イ) 銀貨輸出	
(ロ) 銅貨輸出		(ロ) 銅貨輸出	
(ハ) 銀貨仕向地別		(ハ) 銀貨仕向地別	
(ニ) 銀貨仕出地別		(ニ) 銀貨仕出地別	
(ホ) 銅貨仕向地別		(ホ) 銅貨仕向地別	
三 四十年第二季 自四月至六月 奉天驛輸出入貨物統計表	五五	三 四十年第二季 自四月至六月 奉天驛輸出入貨物統計表	五五
(イ) 輸入		(イ) 輸入	
(ロ) 輸出		(ロ) 輸出	
(ハ) 輸入貨物仕出地別		(ハ) 輸入貨物仕出地別	
(ニ) 輸出貨物仕向地別		(ニ) 輸出貨物仕向地別	
四 四十年第二季 自六月至九月 奉天驛銀銅貨輸出入統計表	六三	四 四十年第二季 自六月至九月 奉天驛銀銅貨輸出入統計表	六三
(イ) 銀貨輸出		(イ) 銀貨輸出	
(ロ) 銅貨輸出		(ロ) 銅貨輸出	
(ハ) 銀貨仕向地別		(ハ) 銀貨仕向地別	
(ニ) 銀貨仕出地別		(ニ) 銀貨仕出地別	
(ホ) 銅貨仕向地別		(ホ) 銅貨仕向地別	
五 四十年第三季 自十月至十二月 奉天驛輸出入貨物統計表	六四	五 四十年第三季 自十月至十二月 奉天驛輸出入貨物統計表	六四
(イ) 輸入		(イ) 輸入	
(ロ) 輸出		(ロ) 輸出	
(ハ) 輸入貨物仕出地別		(ハ) 輸入貨物仕出地別	
(ニ) 輸出貨物仕向地別		(ニ) 輸出貨物仕向地別	
六 四十年第三季 自七月至九月 奉天驛行銅貨輸出入統計表	七五	六 四十年第三季 自七月至九月 奉天驛行銅貨輸出入統計表	七五
(イ) 銀貨輸出		(イ) 銀貨輸出	
(ロ) 銅貨輸出		(ロ) 銅貨輸出	
(ハ) 銀貨仕向地別		(ハ) 銀貨仕向地別	
(ニ) 銀貨仕出地別		(ニ) 銀貨仕出地別	
(ホ) 銅貨仕向地及仕出地別		(ホ) 銅貨仕向地及仕出地別	
七 四十年第四季 自十月至十二月 奉天驛輸出入貨物統計表	七六	七 四十年第四季 自十月至十二月 奉天驛輸出入貨物統計表	七六
(イ) 輸入		(イ) 輸入	
(ロ) 輸出		(ロ) 輸出	
(ハ) 輸入貨物仕出地別		(ハ) 輸入貨物仕出地別	
(ニ) 輸出貨物仕向地別		(ニ) 輸出貨物仕向地別	
八 四十年第四季 自十二月至三月 奉天驛銀銅貨輸出入統計表	七六	八 四十年第四季 自十二月至三月 奉天驛銀銅貨輸出入統計表	七六
(イ) 銀貨輸出		(イ) 銀貨輸出	
(ロ) 銅貨輸出		(ロ) 銅貨輸出	
(ハ) 銀貨仕向地別		(ハ) 銀貨仕向地別	
(ニ) 銀貨仕出地別		(ニ) 銀貨仕出地別	
(ホ) 銅貨仕向地及仕出地別		(ホ) 銅貨仕向地及仕出地別	

第二節	商業季節	一三六
第三節	市場	一三六
(一)	西部	
(二)	南部	
(イ)	銀市	
(ロ)	糧市	
(ハ)	菜市	
(ニ)	魚市	
(ホ)	柴大市	
(ヘ)	牛馬市	
(ト)	肉市	
(チ)	鶏市	
(リ)	猪市	
(ヌ)	瓜市	
第四節	組合及重ナル商人	一三八
第五節	商慣習及特長	一四〇
第一項	決算	一四〇
第二項	仲買及控所	一四一
第三項	相場ノ立方	一四二
(イ)	銀行	
(ロ)	糧行	
(ハ)	雜貨行	
(ニ)	山貨行	
(ホ)	皮行	

第七章	工業及鑛業	
第一節	工業	
第一款	製油業	一四七
(一)	油房業者	一四七
(二)	油房ノ組織	一四八
第二款	製造法	
(一)	原料	
(二)	生産費及收益	
(三)	大豆、豆粕ノ用途	
(四)	生産額及輸出額	
(五)	釀造業	一五三
(六)	燒酒釀造業	一五三
(七)	資本及設備	
(八)	釀造法	
(九)	製出量	

五、集散高

六、收支計算

七、捐稅

八、相場

九、容器

第二項 醬油業

一五八

一、醬油業者

二、製造家資本

三、稅捐

四、製造

(イ) 製造ニ要スル時日

(ロ) 製造原價

五、販賣

(イ) 販賣法

(ロ) 相場

(ハ) 販賣區域

第三款 製粉業

一六一

一、製粉業者

二、礱房ノ組織

三、製造法

四、生産費及收益

五、需要供給ノ狀況

六、原料小麥

七、礱房製粉ト洋麵トノ比較

目次

第四款	窯業	一六七
第一項	磚窯	一六七
(一)	清國人側磚窯	一六七
(二)	用途製出高及價格	
(三)	原料	
(四)	製造方法	
(五)	職工及勞銀	
第二項	日本人側磚窯	一六九
(一)	土器ノ種類	一六九
(二)	產地及原料	
(三)	製法及品質	
(四)	價格	
第五款	製革業	一七〇
(一)	製革業者	
(二)	用途及製革高	
(三)	原料及原產地	
(四)	製革法	
(イ)	牛馬皮製革	
(ロ)	羊皮製革	
(五)	職工及勞銀	
第六款	製紙業	一七三
(一)	製紙業者	
(二)	生産高及用途	

滿洲事情
第1輯 (明治44年3月) 目次

見本縮小

第七款	染物業	一七六
(一)	染物業者	
(二)	染色ノ種料及染料	
(三)	藍染屋ノ組織及染色法	
(四)	染賃	
(五)	職工及勞銀	
附 註		
(一)	產地	
(二)	收穫及製造法	
(三)	收穫高價格及取引店	
第八款	織物業	一八一
第九款	製煙業	一八一
(一)	清國人經營ノ製煙業	
(二)	外國人經營ノ製煙業	
(イ)	英米トラスト製煙所	
(ロ)	三林公司製造煙所	
第十款	電氣業	一八二
第一項	滿鐵電燈營業所	一八二
第二項	奉天省電燈廠	一八四
第十一款	雜工業	一八五
第十二項	車輛製造業	一八五

一、車輛製造業者	
二、大車ノ構造	
三、價格	
四、職工及勞銀	
第二項 鐵工業	一八七
一、鑄鐵	
二、鍛鐵	
三、農具	
四、日用器具	
五、職工及勞銀	
第三項 金銀器、銅器鉛錫器製造業	一八九
第四項 硝子製造業	一九九
一、製造狀況	
二、需要季節及販路	
三、荷造及取引	
四、相場	
第五項、蠟燭製造業	一九六
第六項、膠製造業	一九七
第十二款 奉天工藝傳習所	一九七
第二節 鑛業	一九八
第一款 鑛產物ノ種類及坑數	一九八
第二款 石炭	一九九
第一項 撫順炭坑	一九九
第一目 位置及地勢	二〇〇

第二目	氣候及交通	二〇〇
第三目	沿革	二〇〇
第四目	炭層	二〇三
第五目	炭質及用途	二〇三
第六目	採炭法	二〇四
(一)	千金寨坑	
(イ)	西堅坑	
(ロ)	東堅坑	
(ハ)	十六號坑	
(ニ)	楊柏堡坑	
(三)	老虎臺坑	
(イ)	老虎臺堅坑	
(ロ)	十號坑	
四、大山、東鄉兩坑		
第七目	排水	二〇六
第八目	運搬法	二〇七
第九目	出炭高及販賣高	二〇七
第二項	石門寨及土溝子炭田	二〇九
第三項	本溪湖炭田	二〇九
第一目	位置及地勢	二一〇
第二目	沿革	二一〇
第三目	地質及炭量	二一〇
第四目	炭質	二一一
第五目	出炭高及運搬法	二一一

第六章	設備ノ概要	二一一
第七目	人員	二一一
第四項	牛心臺及窟子峪炭田	二一二
第五項	田子付溝炭田	二一二
第六項	湯溝炭田	二二三
第七項	賽馬集一帶ノ炭田	二二四
(イ)	平頂山炭坑	
(ロ)	小孤山子炭坑	
第八項	鐵路炭田	二二六
第三款	金銀、銅、鉛鑛	二二六
第四款	鐵鑛及製鐵法	二二七
第五款	雲母、石棉其他	二二八
第八章	農業及畜産業	二二八
第一節	農業	二二八
第一款	序 說	二二八
第二款	農作物ノ種類	二二九
第一項	普通農作物	二二九
(一)	高粱	二二九
(二)	玉蜀黍	二二九
(三)	大豆	二二九
(四)	大麥	二二九
(五)	粟稗	二二九
第二項	特用農作物	二二九

	一、大麻及青麻	一一一
	二、棉花	一二三
第三項	園藝作物	一二三
甲	蔬菜類	一二三
	一、白菜	一二三
	二、葱	一二三
	三、茄子	一二三
	四、蘿蔔	一二三
乙	果實	一二三
第三款	農作物ノ產額	一二三
	一、高粱	一二三
	二、大豆	一二三
	三、玉蜀黍	一二三
	四、大麥	一二三
	五、白菜	一二三
	六、茄子	一二三
	七、食用胡蘿蔔	一二三
	八、菜豆	一二三
第四款	農産製造物	一二三
第五款	耕作方法	一二三
第一項	肥料	一二三
第二項	農具	一二三
第六款	耕地ノ面積價格及農家經濟ノ狀況	一二三
第一項	耕地	一二三

第二章	土地價格	一二九
第三項	地租其ノ他ノ賦課	一二九
第四項	土地買賣及租借ノ關係	一二〇
第五項	農民生活狀態	一二一
	一、家屋	一二一
	二、衣服	一二一
	三、食物	一二一
	四、農家ノ休日	一二一
第七款	農作物集散ノ狀況及ヒ其ノ價格	一二二
第八款	結論	一二三
第二節	畜產業	一二四
第一款	家畜種類及ヒ用途	一二四
	一、牛	一二四
	二、馬	一二四
	三、驢	一二四
	四、騾	一二四
	五、羊	一二五
第二款	家畜ノ賣買繁殖輸出	一二五
	一、賣買	一二五
	二、繁殖	一二五
	三、輸出	一二五
第三款	獸疫及檢疫	一二六

第九章 水産業並ニ林産業

第三章	水産業	一二七
第四章	林産業	一二七

滿洲事情

第 1 輯（明治 44 年 3 月）目次

見本縮小

第一欸	尺度	二八七
第二欸	斗量	二八八
第三欸	權衡	二八九

第十一章 交通及通信

第一節 交通

第一項 線路

一、南滿幹線	二九〇
二、京奉線	二九〇
三、撫順線	二九〇
四、安奉線	二九二

第二項 軌道

一、南滿幹線	二九二
二、撫順線	二九二
三、京奉線	二九二
四、安奉線	二九二

第三項 管內鐵道哩數

二九三

第四項 乘車賃金、哩數、及貨物運賃

二九四

第五項 滿鐵半期收入及管內重要驛收入

二九三

第六項 輸出入貨物

二九三

第七項 滿鐵營業成績

二九三

第八項 未設鐵道

二九三

第九項 安奉線廣軌改築

二九三

第十項 改築工事着手ノ由來

二九三

第十一項 改築工事ノ設計

二九三

第十二項 停車場ノ位置及將來

二九三

第十三項 驛員數

二九三

第十四項 收入及乘車人員

二九三

第十五項 建物坪數及附屬土地坪數別

二九三

第十六項 瀋陽驛

二九三

第十七項 奉天同

二九三

第十八項 孤家子同

二九三

第十九項 橋頭同

二九三

第二十項 本溪湖同

二九三

第二十一項 蠶家屯驛

二九三

第二十二項 管內重驛收入乘車人員其他

二九三

第一節 水産業	二三七	二銅元	二八
第一欸 渾河其ノ他ノ河川ニ於ケル淡水漁業		三銀元	二八
ノ狀況	二三七	四銀兩	二七
第二欸 奉天ニ於ケル海產物	二三九	第二目 紙幣	二五
第二節 林産業	二三九	第二項 外國貨幣	二五
第一欸 材木ノ種類	二三九	第一目 日本貨幣	二五
一、產地別		第二目 外國貨幣	二五
二、材種別		第三項 信用證券	二五
三、製材別		第四項 貨幣流通高	二五
(イ) 角材		第五項 相場表	二五
(ロ) 丸太材		第二欸 金融機關	二六
(ハ) 車材	二四一	第一項 清國側ノ金融機關	二六
第二欸 材木ノ產額	二四一	第一目 東三省官銀號	二六
第三欸 材木ノ用法	二四一	第二目 大清銀行	二六
第四欸 材木ノ輸出地	二四二	第三目 票莊	二七
第五欸 材木ノ賣買	二四二	第四目 錢舖	二七
第六欸 殖林方法	二四四	第五目 清國各種金融機關ノ取扱預金及貸付高	二七
第十章 金融及度量衡		第六目 街上南替店	二七
第一節 金融	二四六	第七目 當舖	二七
第一欸 貨幣	二四六	第八目 銀爐	二八
第一項 清國貨幣	二四七	第九目 奉天銀元局	二八
第一目 硬貨	二四七	第二項 本邦人側金融機關	二八
一 銅錢	二四七	第二節 度量衡	二八

目次	第一節 衛生	四六二
第一節 衛生	一、本邦人ノ經營ニ係ル圖書館	四六二
第二節 衛生	二、本邦人ノ經營ニ係ル圖書館	四六二
第三節 衛生	三、本邦醫師及齒科醫	四七〇
第四節 衛生	四、外國人ノ經營ニ係ル病院	四七五
第五節 衛生	五、外國人ノ經營ニ係ル病院	四七五
第六節 衛生	六、衛生組合	四七六
第七節 衛生	七、教會場	四七七
第八節 衛生	八、本邦人ノ經營ニ係ル寺院	四七九
第九節 衛生	九、本邦人ノ經營ニ係ル寺院及塔	四七九
第十節 衛生	十、慈善團練	四八〇
第十一節 衛生	十一、新聞事業	四八〇
第十二節 衛生	十二、社交團練	四八六
第十三節 衛生	十三、俱樂部	四八六
第十四節 衛生	十四、會合	四九〇
第十五節 衛生	十五、會館	四九〇
第十六節 衛生	十六、劇場	四九一
第十七節 衛生	十七、公園	四九一
第十八節 衛生	十八、遊廊	四九一
第十九節 衛生	十九、消防隊	四九二
第二十節 衛生	二十、屠獸場	四九二
第二十一節 衛生	二十一、農事試驗所	五〇〇
第二十二節 衛生	二十二、農事試驗所	五〇〇

一、線路	三六六
二、局所	三六六
三、料金	三六六
四、郵便物數	三六六
五、郵便物數	三六六
六、郵便物數	三六六
七、郵便物數	三六六
八、郵便物數	三六六
九、郵便物數	三六六
十、郵便物數	三六六
十一、郵便物數	三六六
十二、郵便物數	三六六
十三、郵便物數	三六六
十四、郵便物數	三六六
十五、郵便物數	三六六
十六、郵便物數	三六六
十七、郵便物數	三六六
十八、郵便物數	三六六
十九、郵便物數	三六六
二十、郵便物數	三六六
二十一、郵便物數	三六六
二十二、郵便物數	三六六
二十三、郵便物數	三六六
二十四、郵便物數	三六六
二十五、郵便物數	三六六
二十六、郵便物數	三六六
二十七、郵便物數	三六六
二十八、郵便物數	三六六
二十九、郵便物數	三六六
三十、郵便物數	三六六
三十一、郵便物數	三六六
三十二、郵便物數	三六六
三十三、郵便物數	三六六
三十四、郵便物數	三六六
三十五、郵便物數	三六六
三十六、郵便物數	三六六
三十七、郵便物數	三六六
三十八、郵便物數	三六六
三十九、郵便物數	三六六
四十、郵便物數	三六六
四十一、郵便物數	三六六
四十二、郵便物數	三六六
四十三、郵便物數	三六六
四十四、郵便物數	三六六
四十五、郵便物數	三六六
四十六、郵便物數	三六六
四十七、郵便物數	三六六
四十八、郵便物數	三六六
四十九、郵便物數	三六六
五十、郵便物數	三六六
五十一、郵便物數	三六六
五十二、郵便物數	三六六
五十三、郵便物數	三六六
五十四、郵便物數	三六六
五十五、郵便物數	三六六
五十六、郵便物數	三六六
五十七、郵便物數	三六六
五十八、郵便物數	三六六
五十九、郵便物數	三六六
六十、郵便物數	三六六
六十一、郵便物數	三六六
六十二、郵便物數	三六六
六十三、郵便物數	三六六
六十四、郵便物數	三六六
六十五、郵便物數	三六六
六十六、郵便物數	三六六
六十七、郵便物數	三六六
六十八、郵便物數	三六六
六十九、郵便物數	三六六
七十、郵便物數	三六六
七十一、郵便物數	三六六
七十二、郵便物數	三六六
七十三、郵便物數	三六六
七十四、郵便物數	三六六
七十五、郵便物數	三六六
七十六、郵便物數	三六六
七十七、郵便物數	三六六
七十八、郵便物數	三六六
七十九、郵便物數	三六六
八十、郵便物數	三六六
八十一、郵便物數	三六六
八十二、郵便物數	三六六
八十三、郵便物數	三六六
八十四、郵便物數	三六六
八十五、郵便物數	三六六
八十六、郵便物數	三六六
八十七、郵便物數	三六六
八十八、郵便物數	三六六
八十九、郵便物數	三六六
九十、郵便物數	三六六
九十一、郵便物數	三六六
九十二、郵便物數	三六六
九十三、郵便物數	三六六
九十四、郵便物數	三六六
九十五、郵便物數	三六六
九十六、郵便物數	三六六
九十七、郵便物數	三六六
九十八、郵便物數	三六六
九十九、郵便物數	三六六
一百、郵便物數	三六六

滿洲事情
第1輯 (明治44年3月)
目次 全15頁

見本縮小

ご注文フォーム



*ご相談も

滿洲事情

復刻版 全9巻

残り数セット
2022年5月31日

品切れ
寸前!

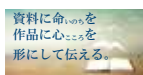
(大空社 1991年刊)
ISBN4-87236-180-6

(全9巻揃<分売不可>)
定価176,213円
(本体160,194円+税10%)

★ご注文・お取り置き・お問合せ・ご相談…いますぐこちらへ!

学術資料出版
大空社出版

eigyo@ozorasha.co.jp



TEL:03-5963-4451

東京都北区中十条 4-3-2 (〒114-0032)



B5判
(182×256ミリ)
上製・クロス装

本文＝総約5,500頁
写真頁＝総約90頁
折込図版＝総15枚